

# レクタブル<sup>®</sup>2mg 注腸フォーム14回 を使用される方へ

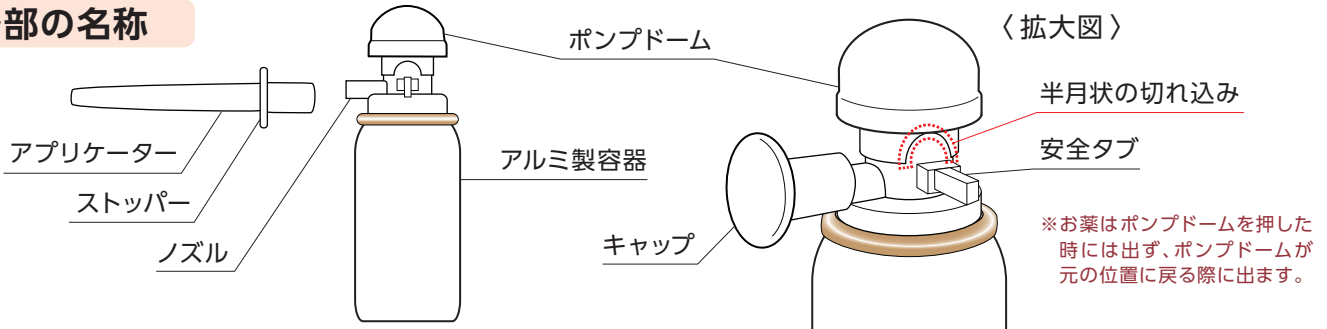
## 全般的な注意事項

- 本剤容器の中には14回(7日)分よりたくさんのお薬が入っていますが、14回使用したら、薬液が残っていても新しい容器に交換してください。
- 手指や目などにお薬が付着した場合は、速やかに水で洗い流してください。
- 高圧ガス(LPG)を使用した可燃性の製品であり、危険なため下記の注意を守ってください。
  - ☑ 炎や火気の近くで使用しない
  - ☑ 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光のあたる所や火気などの近くに置かない
  - ☑ 火の中に入れない

## 保管について

- アルミ製容器は横にせず、立てた状態で保管してください。
- 室温(1~30℃)でキャップをつけた状態で保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。

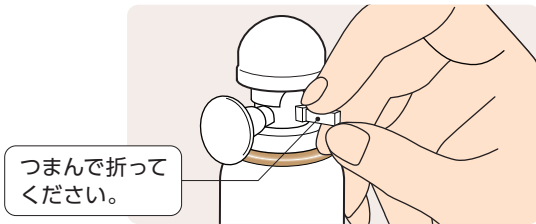
## 各部の名称



## 使用の準備

※使用前には、できるだけ排便を済ませてください。

### 1 安全タブを外す 初回使用時のみ



つまんで折ってください。

安全タブは、折れにくいのでご注意ください。

### 使用前にアルミ製容器を手で温めてください

※冷えていると、薬液の流動性が悪くお薬が出にくい場合や、ポンプドームが押しにくい場合があります。

- 使用前はしばらくの間、約20~30℃の場所に置いてください。
- 高圧ガスを使用しているため、体温以外では温めないでください。



アルミ製容器を振って、パシャパシャという音がすることを確認してください。

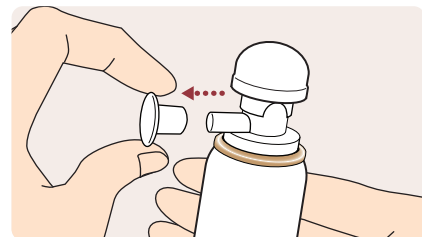
音がしない場合、再度手で温めてください。

### 2 15秒間振る



アルミ製容器を15秒間よく振ってください。

### 3 キャップを外す

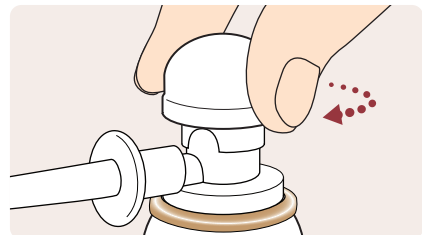


### 4 アプリケーターの取り付け



アプリケーターをノズルの根元までしっかり取り付けます。毎回、新しいものを使ってください(本剤にはアプリケーターが14個同梱されています)。

### 5 ポンプドームを回す



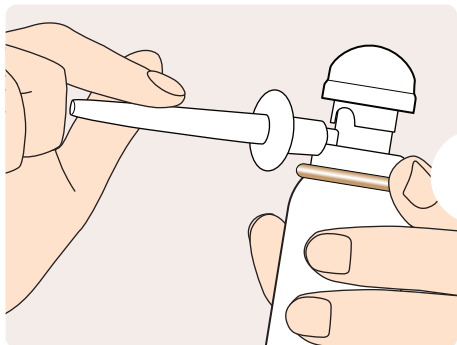
ポンプドームを回し、半月状の切れ込みがノズルの真上になるように合わせます。

お薬を使用する準備ができました。裏面の使用方法をご覧ください。▶▶▶

## 使用方法

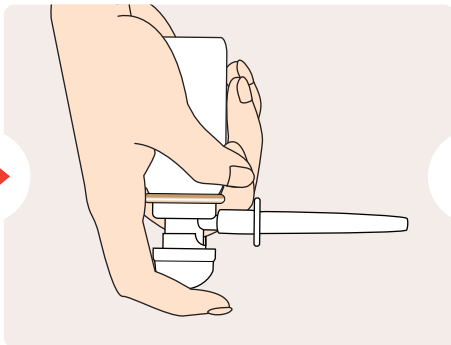
使用中または使用後に異常を認めた場合は、医師または薬剤師に相談してください。

### 1 必要に応じて、ワセリン などの潤滑剤じゅんかつざいを塗る



挿入しやすいように、アプリケーターに潤滑剤を塗ります。

### 2 容器を持ち、真下に向ける



ポンプドームに人差し指を置き、アルミ製容器を真下に向けます。

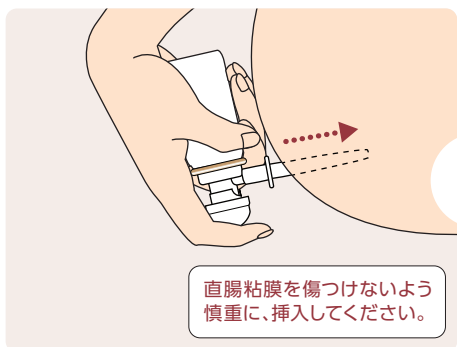
### 3 片足をイスや洋式トイレにのせ、上半身を少し前に倒す



立った姿勢で、片方の足をイスや洋式トイレにのせると操作しやすくなります。

アプリケーターを挿入しやすく、ポンプドームを押しやすい体勢をとります。

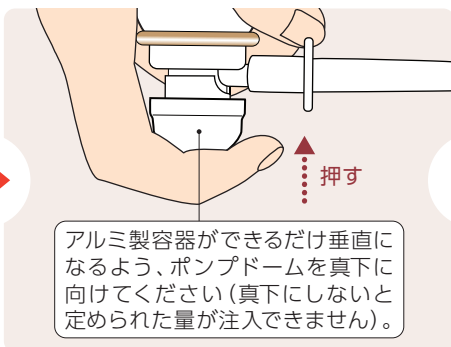
### 4 肛門にアプリケーターを挿入



直腸粘膜を傷つけないよう慎重に、挿入してください。

アルミ製容器を逆さまにしたまま、肛門にアプリケーターをストッパーまで確実に挿入します。挿入によって痛みが生じる場合には、無理のないところまで挿入してください。

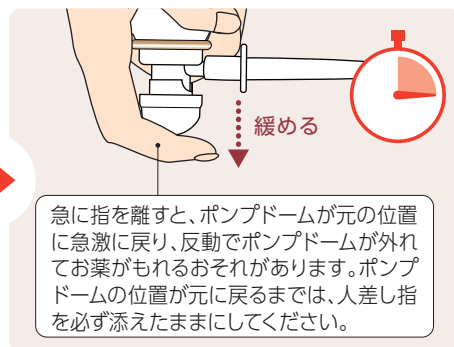
### 5 ポンプドームを 押したまま約2秒待つ



アルミ製容器ができるだけ垂直になるよう、ポンプドームを真下に向けてください(真下にしないと定められた量が注入できません)。

ポンプドームを人差し指で完全に1回押し、そのまま約2秒間押したままにします(この状態ではお薬は出ません)。1回の使用で2回以上押さないでください。

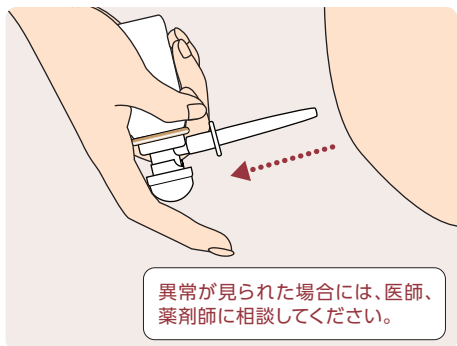
### 6 すっと人差し指の力を 緩め、約15秒待つ



急に指を離すと、ポンプドームが元の位置に急激に戻り、反動でポンプドームが外れてお薬がもれるおそれがあります。ポンプドームの位置が元に戻るまでは、人差し指を必ず添えたままにしてください。

アプリケーターを肛門に挿入したまま、ポンプドームが元の位置に戻るまですっと人差し指の力を緩め、約15秒間待ちます(この間にお薬が注入されます)。

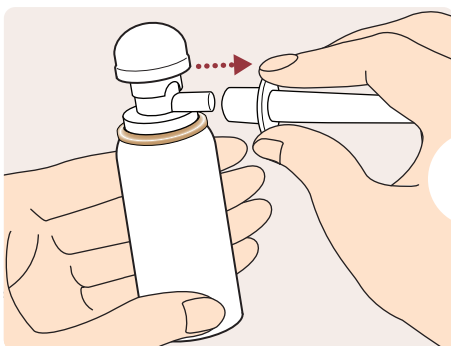
### 7 アプリケーターを 引き抜く



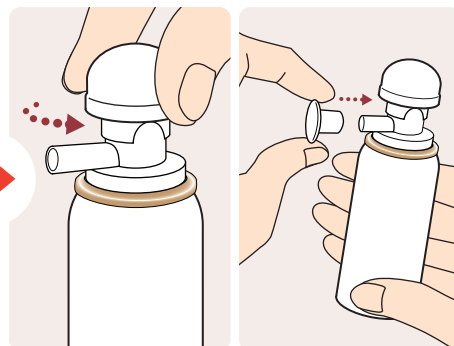
異常が見られた場合には、医師、薬剤師に相談してください。

アプリケーターを肛門からゆっくり引き抜きます。お薬が肛門からもれた場合は、速やかにふきとってください。

## 使用終了後



アプリケーターをノズルから取り外します。使用済みのアプリケーターは、廃棄袋に入れて、各自治体のルールに従って廃棄してください。



ポンプドームを回して、半月状の切れ込みを使用前の位置に戻し、ノズルにキャップをつけます。

## 廃棄方法

- 廃棄する前にまず、アルミ製容器に残った薬剤をできる限り出し切ってください。その際、アルミ製容器に穴を開けないでください。  
※当製品は、1缶14回、安定した量の薬剤を噴射できるように多めに薬剤が充填されています。そのため、14回噴射した後もある程度の薬剤が残っています。
- その後、地方自治体により定められたアルミ製容器の廃棄ルールに従って捨ててください。